

府中市男女共同参画計画推進状況 重点項目評価表①（令和5年度実績）

【第三者評価 基準】 ※「→」は評価点数換算  
A…施策は非常に良好に進展している → 5  
B…施策は、良好に進展している → 4  
C…現状維持 → 3  
D…施策がやや後退している → 2  
E…後退している → 1

資料 2

| I あらゆる分野における男女共同参画                |                                                                                                                                                                                                                            |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 社会・地域における様々な分野での女性活躍を推進する環境づくり  |                                                                                                                                                                                                                            |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| (1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大           |                                                                                                                                                                                                                            | 各委員の評価 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 1 全ての審議会等における男女それぞれの構成比率を40%以上に促進 | 政策課                                                                                                                                                                                                                        | 2      | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 | 4 | 2 | 3 |
| コメント                              | 目標値を下回っているため。やむを得ない事情もあるようなので、引き続き、地道に取り組んで頂きたい。                                                                                                                                                                           |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 目標に対し未達成であるばかりか、比率が低下しているにも関わらず、対策の具体性に乏しいため。                                                                                                                                                                              |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 全ての内容が前年とほぼ同じで、女性の比率が下がっている。選出母体に女性が少ないことは前から分かっていたことなので、足かせとなっている規則があるなら早急に変えなければならないと思います。                                                                                                                               |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 40%達成はハードルの高い目標なのでしょうか。女性の活躍が進んでいくことは社会全体の目標です。女性委員を選出する強い働きかけを具体的に示してほしいです。                                                                                                                                               |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 目標達成には届いていないが、達成に向けて努力していること、昨年度よりは女性委員の割合が増えていることなどからこの評価とした。<br>今年度の計画・目標に「規則などの変更も含めて」とあるが、具体的にはどのようなアイデアがあるのか、あて職の範囲を広げるなど一歩踏み込んだ対応を期待している。<br>女性の活躍を進めることが本目標達成に効果的であることはもちろんであるが、この事業項目では別の角度から4割の壁を突き破ってほしい。        |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 目標達成に向けて、着実に歩みを進めていること、女性委員登用への周知徹底、問題点を数値化して分析しているところは評価します。同じことの繰り返しでは、40%以上の目標達成は難しいと思われます。専門アドバイザーの助言をふまえて、規則等の変更等、より積極的な取組をお願いします。                                                                                    |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 実績数値は更新されているものの、「取り組みと実績」「評価の内容」「取り組みに対する今後の課題」「計画及び目標」の文章が更新されていないため、今回の評価及び、今後の課題が明確に検討、検証されていないと考えます。前年度からの新たな取組やそこから検証した今後の施策等あれば記載をしていただきたい。女性委員の割合が減っているのはなぜなのか、分析されていたら教えてください。                                     |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 「評価の内容」「取組に対する今後の課題」から、令和5年度は令和4年度実績より女性委員の割合が減少していると理解しましたが、「取組と実績」欄には令和5年度末の女性委員の割合が36.07%、令和4年度では33.85%とあり、女性委員の割合は増加しているのでは、ととれました。女性委員の比率は、様々な要因により急激な増加には結びつきにくいと思いますが、令和6年度計画にありますように、ぜひ規則等の変更も含め着実に取組を進めていただきたいです。 |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 目標値は達成できなかったが微増していることは成果とみなすことができる。計画及び目標について、「具体的な取り組み」を記載していただきたいところで                                                                                                                                                    |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 4年度実績よりも女性比率が減少したということなので、Dとしました。<br>記述内容を見ると、ほぼ昨年度と同じことが書かれていますが、目標の40%に近づくためには、今までとは違うことをしないといけないと思います。公募市民枠以外（学識経験者、団体代表）にメスを入れないと達成できないと思うので、規則を変更するなど、抜本的な手をうっていただきたい。                                                |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 従前よりも積極的な取組を行い、目標達成への努力をしていることは認められるが、専門アドバイザーの助言を踏まえた取組の効果にも限界が見られ、数値的にも足踏みしている状態であることからこの評価とした。<br>「規則等の変更も含めて周知徹底を行う」とのことなので、ぜひ抜本的な対策を講じ、さらなる改善につなげてほしい。                                                                |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                                   | 規則等の変更を含めて周知徹底を行うとともに目標達成に向けた具体的な取組について、検討を進める、とあるが、規則の変更も、達成のための取組も検討を進める、とあるだけで、どのような規則等の変更なのか具体的な試案すらもない。<br>女性人材バンクの活用についても、ポスターは見ているが実態の把握していない。今後の課題と思いました。                                                          |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 判定理由及び改善策の提言など（案）                 | 目標達成には至っていないものの、地道な取組みの結果、女性委員の割合が微増していることが評価されます。記述内容が前年とほぼ同じですが、新しい角度での踏み込みや抜本的な対策、専門アドバイザーの助言を踏まえた規則の変更が必要です。40%以上の目標達成が難しい状況であるため、積極的・具体的な取り組みを示してほしいです。                                                               |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

|      |
|------|
| 評価平均 |
| 2.58 |
| 評価   |
| C    |

|       |
|-------|
| 第6次計画 |
| 1     |

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 【第三者評価 基準】 ※「→」は評価点数換算 |     |
| A…施策は非常に良好に進展している      | → 5 |
| B…施策は、良好に進展している        | → 4 |
| C…現状維持                 | → 3 |
| D…施策がやや後退している          | → 2 |
| E…後退している               | → 1 |

1

あらゆる分野における男女共同参画

2

労働場における男女共同参画

3

市職員の男女共同参画の推進

|                           |       | 各委員の評価 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---------------------------|-------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 17 事業所に対する女性活躍促進の積極的な働きかけ | 産業振興課 | 2      | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 |

事業所管課の評価のとおり。

市内事業者における女性活躍推進に関し、行政としてどのようなアプローチができるのか、様々な可能性を探るべきであると考えているが、進展が見られない為。より多様なセクターとの連携をはかるなど、可能性を広げて検討して欲しい。

パンフレット配布のみに対し、課題がないとするのはいかがなものかだと思います。ヒアリング後の変化が感じられないことが残念です。多様性社会推進課との共催事業に期待します。商工会議所などと連携することも続けてください。

セミナーのパンフレットの配布で課題解決とはいかないと思います。5年度の計画にあった「市内中小企業経営者、人事担当者に向けた男女共同参画に関する意識啓発セミナー」が実施されたのなら参加者やその反応や効果について知りたい。

「今後の課題は特になし」という記述から、取組に対する意気込みは感じられない。  
本事業項目の成果とは何か、その成果に結びつく目標とは何かを改めて考え直してほしい。

昨年度とは、男女共同参画への取組姿勢が変わってきているのを感じます。事業概要で、事業所の働きやすい職場環境づくりを進めるとしているのですから、取組に対する今後の課題が、「特になし」というのは、非常に残念です。パンフレットの配布部数や件数、セミナーの回数、テーマ、参加人数などを調べて内容を分析することで、課題は見えてくるように思います。

数値の記載がないため、評価ができない。取組みに対する今後の課題は、本当に「特になし」ですか？

令和5年度の実施計画とされていた意識啓発セミナーの開催状況や「取組に対する今後の課題」についての記載がなく、取組に対して消極的・後ろ向きな印象を受けました。女性のみならず、働きやすい職場環境づくりは非常に重要かと思うので、諸事情によりセミナーを開催しなかった場合等においても状況報告を行っていただくなど、積極的な姿勢を見せていただきたいです。

パンフレットの配布のみで周知するのはなかなか困難なのではないか。セミナーを開催する際には、その意義がよく伝わるような周知活動を行ってほしい。

昨年度の回答によると、①パンフレットの配布枚数、配布場所について記録を行っていなかった。②セミナー開催のノウハウがないため実施できなかったが、各団体と協力して感所△に対する口座を実施する。③5年11月、12月に意識啓もうセミナーを実施予定と記載されていましたが、その実績について、何も触れられていない。パンフレットを配布しただけですか？課題、計画に対して、取り組んだようにはみうけられません。記載内容を見ると、施策が後退しているようにしかみえません。

「職場の意識改革を促進するため」の取組がいつまでもパンフレットの配布のみというのは、あまりにも限定的な取組で、事業概要を十分に満たしているとは言えないことから、この評価とした。  
すでに前年度の「今後の課題」の箇所で講座の実施について言及しているので、今年度は必ず実施していただきたい。  
例えば、「unconscious bias」をテーマにした講演などは、「女性が活躍できるような職場の意識改革を促進する」という点では適切であり、官民間問わず、実施例も豊富にあることから、すぐにでも実施可能なものと考えられる。

まずは、不勉強で、国や東京都の作成するパンフレットを見ていないので、見ることから、思いました。周知を行うために、多様性社会推進課と共催で、男女共同参画にかかる、講座を実施するとあり、働きやすい職場環境づくりを進めます、とも、あり講座は是非、実現して欲しいです。参加させて頂きたいです。

判定理由及び改善策の提言など（案）

セミナーのパンフレット配布のみが取組みというのは事業として不十分であり、今後の課題は特に無しという記述から課題解決への前向きな姿勢が見られません。取組みの実施、実績・効果を分析することで課題を見つける必要があります。働きやすい職場環境づくりの実現のため、すぐに実施可能なセミナーや講演の実施は積極的に検討していただきたいです。

|      |
|------|
| 評価平均 |
| 2.17 |
| 評価   |
| D    |

|               |
|---------------|
| 第6次計画<br>事業番号 |
| 17            |

【第三者評価 基準】 ※「→」は評価点数換算  
A…施策は非常に良好に進展している → 5  
B…施策は、良好に進展している → 4  
C…現状維持 → 3  
D…施策がやや後退している → 2

1あらゆる分野における男女共同参画

4市民協働における男女共同参画

(1)市民活動の支援と人材育成

|                         |                                                                                                                                                                                                                | 各委員の評価 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 22 男女共同参画センター「フチュール」の運営 | 多様性社会推進課                                                                                                                                                                                                       | 3      | 4 | 4 | 3 | 2 | 3 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 | 5 |
| コメント                    | 来場者数、施設利用率、蔵書数などが、順調に推移しており、所管課が熱意を持って取り組んでいると言える。                                                                                                                                                             |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 現状置かれている環境においては、考えうる施策を実施しているため。「フチュール」の愛称を付したことで一時的に認知度が低下した旨が昨年度の協議会で話題となったが、そこから時間が経過する中で徐々に認知度も向上しているように見える。「ブラッツ」等との連携をはかるなど、一層の認知向上とフチュールの利用促進を働き掛けてほしい。                                                 |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 情報資料室の整備は評価できます。利用者が増えてきているのは良いですが、稼働率が3割台であることから、現状維持としました。人種や性別、障害に関係なく、「楽しく集う場所」を目指した独自のイベントはどうでしょう。例えば、英会話を楽しみながらクッキングとかダンスパーティーなど、英語が出来ない人もスマホを活用して交流するなど、一般企業の力を借りて、また役所内他の課と協力して企画してはどうですか。             |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 来館者数が回復してきたことは喜ばしいです。とりわけ男性の増加は性別にかかわらず利用しやすい施設運営に努力していることがうかがわれます。まだフチュールの施設認知度は高いとは言えないので情報発信に努めてください。                                                                                                       |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 来館者数が増加していること、特に男性の利用者の増加を評価して「4」とした。この機を逃さずさらに増やしてほしい。<br>〔計画・目標〕には、フチュールの知名度を上げる具体的な対策について、さらに詳しい記述があるとなよかった。                                                                                                |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 登録団体は減少していますが、来館者数は徐々に増加しています。今後も施設の認知度が向上していくような取組や地域との連携に大いに期待しています。                                                                                                                                         |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 数値の増加はあるものの、昨年度の回答と文章が同じあり、実際に何の取り組みをしたことで来館者が増加したのかの記載がないため、評価ができない。取り組み内容よりも、コロナが明けたことによる、自然増という印象を受ける。                                                                                                      |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 来館者数や稼働率の増加は、新型コロナウイルス感染状況の低下など社会的背景のみならず、講座の実施等継続的な活動の賜物と思います。自己評価において、工夫された点や分析・考察など一歩進んだ記載があるとより良いように思います。引き続き、利用しやすい施設の運営、フチュールの情報発信等をお願いします。                                                              |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 来館者数の増加や男性利用者の割合などに改善がみられる。多様なイベントを実施するなど、施設に関する情報の発信に努めていると感じられる。                                                                                                                                             |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 市民に、学習・交流の機会と場を提供するという意味ではフチュールは機能していると思います。しかしながら、男女共同参画を推進する拠点施設である男女共同参画センターとしての機能に関しては、まだまだ弱いと感じます。名称が女性センターから男女共同参画センターに変わっても大きな変化は感じられません。どうしたら、男女共同参画を推進する拠点になれるのか、この協議会の場でも、ある程度時間をとって、考えてみたらどうかと思います。 |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | 来館者数、施設利用率とも増加しており、堅調な運営がうかがえるため、この評価とした。<br>引き続き、施設の趣旨に沿った運営を継続していただくとともに、他施設の見学、ヒヤリングなどを行い、イベントや日常の運営にさらなる工夫を加えることを希望する。                                                                                     |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|                         | センター登録団体が18団体も減りました。普段利用させていただいている団体の一人としては、とても寂しいですが、来館者数は増えています。開館時間が22時まで、駅から数分の、強み、と思っております。性別にかかわらず利用しやすい、施設の運営に努める、とありがたいと思います。                                                                          |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 判定理由及び改善策の提言など（案）       | 来館者数、また男性の利用者が増加していることから運営の努力が見られます。イベント実施の継続性や学習・交流としての機能の充実性は評価できますが、稼働率が現状維持である点、「男女共同参画を推進する拠点施設」の機能としてはまだ弱い点があります。また「フチュール」の知名度を上げていくためにも、他施設や民間企業等と連携を深めて更なる企画・情報発信を期待します。                               |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

|      |
|------|
| 評価平均 |
| 3.50 |
| 評価   |
| B    |

|               |
|---------------|
| 第6次計画<br>事業番号 |
| 22            |